

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 16 日 更新

事務事業名		放課後児童クラブ室維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2 福祉の健康				所属部	こども部	課長名	衛藤 和博
	施 策	4 子育て支援の充実				所属課	こども未来課	担当者名	高鷹 博和
	施策の柱	16 子育てと仕事の両立支援				所属班	保育班	(内線)	1621
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10571	根拠法令	合志市学童保育施設条例	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公設の市内放課後児童クラブ施設の老朽箇所や不具合が生じている箇所の修繕や改修を行う事業。 ※光熱水費については、旧合志で、平成5年度に南ヶ丘小に、平成7年度に合志南小に、仕事等で昼間保護者がいない小学校低学年児童の育成指導のため放課後児童クラブ保育室が設置され、両施設とも町負担としていた。一方旧西合志では、運営主体の保護者会が負担しており、また、運営費には保育活動に係る経費も含んでいるため、合併協議により合併後は両町の助成方法等を統一することで調整されていることもあり、光熱水費については、平成19年度から運営主体の負担とした。
【業務の流れ】	市内小学校放課後児童クラブの施設修繕管理 ①現地確認 ②事業施行伺い ③見積徴収 ④工事完了報告書 ⑤検査 ⑥修繕費の支払
【主な予算費目】	施設修繕費、委託料
【意見や要望】	放課後児童クラブ施設を整備し、年数が経過しているクラブの運営者から施設及び備品等の修繕依頼があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 7月に東小学童クラブジャンプの空調機修繕、8月に南ヶ丘小学童なかよしクラブの空調機修繕、くすの木クラブ床修繕、9月に西合志中央小学童クラブの電気錠修繕、3月に合志風の森小学童クラブの空調機修繕を行った。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 放課後児童クラブ施設の修繕等を行い、施設の良好な環境を維持する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア:施設修繕数	箇所	第一小くすのきクラブ床修繕工事の完了に伴う工事請負費の減
⇒ イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内放課後児童クラブ施設及び施設内備品		⇒ ア:修繕等を必要とする箇所数
		⇒ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
クラブ施設を良好に維持することで利用者の安心・安全な保育環境を整備する。		⇒ ア:修繕した割合(修繕した力所数÷修繕等が必要な箇所数) %
		⇒ イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
施設修繕であるため、修繕した割合とした。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	箇所	2	3	2	5	3	3	3	3	
	イ										
② 対象指標	ア	施設	2	3	3	5	3	3	3	3	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	432	1,098	1,095	750	830	1,126	1,126	1,126
	(A) 事業費計	千円	432	1,098	1,095	750	830	1,126	1,126	1,126	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
			千円								
	人件 費	正規職員従事人数	人	1	1	2	1	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	100	200	200	200	200	200	200	200
		(B)人件費計	千円	391	761	796	728	796	796	796	796
	トータルコスト(A)+(B)		千円	823	1,859	1,891	1,478	1,626	1,922	1,922	1,922

事務事業名	放課後児童クラブ室維持管理事業	所属部	こども部	所属課	こども未来課
-------	-----------------	-----	------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した 放課後児童クラブから申し出のあった修繕が必要な部分については、全て対応した。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 申し出のあった修繕は全て対応し、目標を達成した。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある⇒【理由】 ☒ 向上余地がない⇒【理由】 施設管理事業であるため、向上余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 施設の修繕等の事業であるため他に手段はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 ☒ 削減余地がない⇒【理由】 現在は、軽微な施設・設備の修繕等は運営事業者で負担することとしており、市の負担は軽減している。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 ☒ 削減余地がない⇒【理由】 最低限の人員配置で業務を遂行しており、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 ☒ 公平・公正である⇒【理由】 放課後児童健全育成事業は、児童福祉法の規定に基づき実施する事業であり、市において施設を整備しているため、その施設に不具合が出た場合に対応することは公平公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である⇒【理由】 軽微な施設・設備の修繕は運営事業者が行うこととし、維持管理の費用負担を区分したため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

築15年以上経過した施設では、施設修繕等が必要となる可能性も高いが、迅速に対応し、児童の安全、安心な保育環境の場を確保したい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												